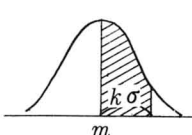


(表 8)
正規分布表(一部)

k	
	
1.00	0.3413
1.65	0.4505
1.96	0.4750
2.00	0.4773
2.33	0.4901
2.58	0.4951
3.00	0.4987

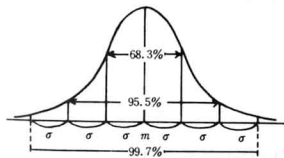
正規分布表は、平均値 m からのずれか、 m から上側に、標準偏差の k 倍以内にあるもの、すなわち、区間 $(m, m+k\sigma)$ 内にあるものの全体に対する割合(確率、面積で表される)を計算したものですから、この表から、平均値 m から両側に $k\sigma$ 以内にあるもの、すなわち、

- $k=1$ のとき、区間 $(m-\sigma, m+\sigma)$ 内にあるものは、全体の
 $0.3413 \times 2 \doteq 0.683$ の割合
- $k=2$ のとき、区間 $(m-2\sigma, m+2\sigma)$ 内にあるものは、全体の
 $0.4773 \times 2 \doteq 0.955$ の割合

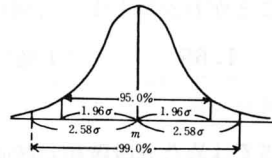
- $k=3$ のとき、区間 $(m-3\sigma, m+3\sigma)$ 内にあるものは、全体の
 $0.4987 \times 2 \doteq 0.997$ の割合であることがわかります。

正規分布表のうち、よく用いられるのは、(表 8)の数値です。

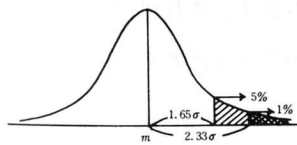
(図 9)



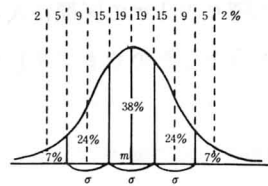
(図 10)



(図 11)



(図 12)



これらの数値は、次のようにして覚えておくと便利です。

$\pm 1\sigma \rightarrow 68.3\%$, $\pm 2\sigma \rightarrow 95.5\%$, $\pm 3\sigma \rightarrow 99.7\%$ (図 9 参照)

ムヤミ ニ クイ サンザン クーナ